

2023 年度外国人留学生のオリエンテーションと就職経験共有会 — 「入口」と「出口」における支援 —

閔 琬新

東北大学大学院教育学研究科

日本政府は 2008 年に、「留学生 30 万人計画」の政策を打ち出した。それ以降、日本に留学する外国人留学生（以下、留学生という）の人数が大幅に増加してきた。「留学生 30 万人計画」を達成した現在、東北大学教育学部と教育学研究科に在籍する留学生の人数は 60 人を超える。この状況を受け、学生の留学生生活をより良くサポートするため、国際交流支援室は新入留学生のためのオリエンテーション及び文系留学生の日本就職経験共有会を開催した。

1. 新入留学生のためのオリエンテーション

国際交流支援室は 2020 年 10 月以降、教育学部と教育学研究科の新入留学生を対象に年 2 回、オリエンテーションを実施している。2023 年度のオリエンテーションは 4 月 14 日と 10 月 13 日に、対面形式で開催された。これらのセッションには、国際交流支援室の教員 3 名と新入留学生 18 名が参加した。

オリエンテーションでは、教員から新入留学生への歓迎の言葉と共に、教育学部・教育学研究科、さらには東北大学が提供する全学的な留学生支援プログラムの紹介があった。また、留学生活で直面しがちな問題について話し合い、その解決策に関するアドバイスが提供された。さらに、キャンパスツアーが実施され、新入留学生が大学の施設についてより深く理解できる機会となった。オリエンテーションに加えて、国際交流支援室は SNS を利用した相談体制を構築し、在学中の留学生が留学生活に関する様々な疑問や問題について気軽に相談できる環境を提供している。



春学期 新入留学生のオリエンテーション



秋学期 新入留学生のオリエンテーション

2. 文系留学生の日本就職経験共有会

文系留学生の就職活動を支援するため、本学国際交流支援室は2024年2月3日に、元留学生のKさんとTさんを講演者として招き、就職経験共有会を開催した。本イベントは、卒業後に日本での就職を希望する留学生を対象にしたもので、現実的な就職活動の準備と対策に焦点を当てた。

共有会の準備段階では、担当者が講演者と数回にわたり打ち合わせを行い、それぞれの就職活動経験や業界知識を深く掘り下げ、講演内容を細かく計画した。この事前準備により、講演者が自身の体験を効果的に伝えることが可能となり、聴講者にとって最大限の学びを提供することを目指した。

当日の講演では、KさんとTさんがそれぞれの就職前準備について詳細に説明した。特に、自己分析の重要性、業界や企業の情報収集、面接対策の方法、そして各業界を選択する際の考慮点について深く掘り下げた。Tさんは転職経験も踏まえ、異なる業界間の文化や働き方の違いについても触れ、参加者に多角的な視点からの洞察を提供した。また、両講演者は就職活動中に直面する可能性のある挫折や困難に対する対処法についても言及し、現実的なアドバイスを提供した。就職活動の過程で避けられない困難に対し、前向きに対処する姿勢の重要性を強調した。

講演後には質疑応答の時間が設けられ、参加者からの疑問や不安に対して、講演者が直接回答する機会を提供した。このセッションは、参加者と講演者間の積極的な交流を促し、個別の懸念に対する具体的な助言を得る貴重な時間となった。

本共有会は、留学生が日本での就職活動に臨む際に直面する可能性のある課題に対して、実践的なガイダンスと支援を提供することを目的としている。参加者は、元留学生の貴重な経験談を通じて、具体的な準備方法や対策を学び、自身の就職活動に活かすことができた。国際交流支援室は、今後も留学生のキャリアサポートと成功を目指し、様々なイベントやプログラムを提供していく予定である。



文系留学生の日本就職経験共有会